

コロナ下 新成人決意新た

一部に分け成人式

新成人の晴れ舞台「成人式」が1月11日、文化センター大ホールで行われ、新成人458人(対象者704人)が、振袖や袴、スーツ姿で旧友との再会を喜び合いました。

今年の式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を中学校区ごとなどで



会場入り口でアルコール消毒をする新成人



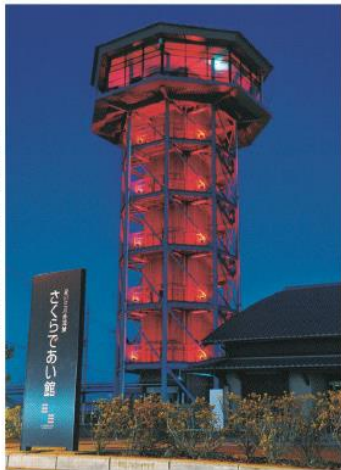
市長に向かって誓いの言葉を述べる岡さん(中央)と川口さん(右)

午前と午後の一部に分けて開催。会場入り口での手指のアルコール消毒や検温など、感染対策を徹底して実施しました。

式典では、新成人たちに堀口市長と山田議長からお祝いの言葉が贈られました。

また、新成人を代表して午前の部は岡涼雅さんと川口彩華さん、午後の部は黒澤航さんと北村千鶴さんが誓いの言葉を披露。岡さんと川口さんは、新型コロナウイルスの影響に触れ、「新しい生活様式が求められ、今までとは異なることも多々あるうかとは思いますが、柔軟に対応し一人の大人として社会に貢献していきたいと思いを」と、コロナ禍でも新たな時代を切り開く決意を込めていました。

赤色照明で外出自粛訴え



赤色ライトアップされた展望塔

淀川河川公園青割堤地区のさくらであい館では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出を受け、1月20日から同宣言の期間中、展望塔を赤色にライトアップし、不要

さくらであい館展望塔 ライトアップ

外出自粛を呼び掛けることを目的とした。

同館職員は「この取り組みで外出自粛に目を向けていたとき、将来安心して外出できる環境に戻ることが願っています」と話していました。

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

とんどさんで健康お祈り

園児ら正月飾りなど持ち寄り

竹で組んだやぐらに正月飾りや書初めなどを掛けて焼く「とんどさん」が1月13日、有都こども園そばの田んぼで行われ、同園の園児たちが今年1年の健康などをお祈りしました。

「とんどさん」は、無病息災や五穀豊穡を祈る日本の伝統行事。同園では毎年、地域の人の協力を得てやぐらを組んでもらい、園児らが自宅から持ってきた正月飾りや、秋に収穫した稲などを掛けて行っています。

田んぼに集まった園児たちが大きな声で「火の神様ー」と呼ぶと、火の神様が登場し、手に持ったたいまつでやぐらに火をつけました。

やぐらは煙をあげながら勢いよく燃え上がり、「ボンッ、ボンッ」と竹が弾ける大きな音が周囲に響きました。園児たちはその様子を見つめながら、新型コロナウイルスに負けずに健康で元気に過ごせますようにと、手を合わせてお祈りしていました。



やぐらに火をつける火の神様と見つめる園児たち

今月のこの人

両親に感謝伝えたい



きたむら ちづる
北村千鶴さん

成人式の実行委員 男山東中学校出身 大学2年生

「成人式が中止になった友だちもいたので、開催されてよかったです」と話す北村さん。仲間たちと感染対策に注意しながら、一生に一度の時間を楽しみました。

現在は大学で看護を勉強中。小学1年生のとき、祖父をがんで亡くした経験から看護師を目指すように。新型コロナウイルスの影響でオンライン授業となったため大学にほとんど通えず、病院での実習も中止になり不安な日々を過ごしていますが、「患者さんは病気で暗い気持ちになっている人が多いと思うので、私と接することで明るい気持ちにな

ってもらえる看護師になりたい」と前を向きま

す。「両親にはいろんなことでお世話になってきたなと感じるので、一番感謝を伝えたいです。あんまり言う機会もないので」と少し照れながら話す北村さん。コロナ禍のような困難な中でも、八幡市出身の成人として夢に向かって突き進みます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。か、秘書広報課へお問合せください。